

令和4年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号
代表者 : 理事長 武内慎吾

法人概要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香
所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号
連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088
E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦
所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号
連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426
E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：奥瀬 佳代子（令和5年度より長橋佳子）
所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号
連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455
E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法人報告

理事会・評議員会については約2年ぶりに対面で開催し、様々な議論を取り交わすことができた。

「さくらづか保育園」および「のぼたけ保育園」は幼保連携型認定こども園へ認可変更させて2年目という事もあり、特に大きな問題もなく運営することができた。「のぼたけマミー保育園」についても、特に問題なく運営できている。

経営面としては法人全体として、経常増減差額率 7.8% (5.9%), 流動比率 324.9% (185.6%), 純資産比率 76.4% (70.5%), 固定長期適合率 84.3% (94.3%), 人件費比率 68.8% (72.2%) であり、良好な経営状態であったといえる。

※ () 内は令和3年度豊中市保育事業提供法人平均値

※ 社会福祉法人の経営指標は別紙参照

地域貢献に関しては、園庭開放・一時保育事業・各サークルを人数制限や予防対策を講じながらではあるが行うことができた。自治会等の活動については今年度は自粛が続いていたが、令和5年度からは活動が再開すると聞いているので積極的に参加していきたい。

1. 理事会・評議員会等開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和4年5月31日	第1回 理事会	令和3年度事業報告・決算、令和4年度補正予算、就業規則の改定
令和4年6月21日	第1回 定時評議員会	令和3年度決算、令和4年度補正予算
令和5年3月15日	第2回 理事会	令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・予算、各規程改定、重要な役職の任免
令和5年3月29日	第2回 評議員会	令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	主な内容
令和4年5月27日	第1回 運営会議	理事会前打合せ
令和4年12月21日	第1回 施設長会議 (WEB会議)	各施設の指導監査内容、実習生受入費、新型コロナ関連の休暇、就業規則について
令和5年3月8日	第2回 運営会議	理事会前打合せ

3. 月例監事確認

日付	監事名	確認対象月	場所・備考
令和4年7月26日	二宮 健司	4・5月	山下公認会計士事務所
令和4年8月26日	遠藤 勝孝	6・7月	山下公認会計士事務所
令和4年10月25日	二宮 健司	8・9月	山下公認会計士事務所
令和4年12月16日	遠藤 勝孝	10・11月	山下公認会計士事務所
令和5年2月14日	二宮 健司	12・1月	山下公認会計士事務所
令和5年5月22日	二宮 健司 遠藤 勝孝	2・3月	のばたけ保育園 (令和4年度監事監査も実施)

各施設報告

【認定こども園 さくらづか保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計			
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市						
3号	0歳児	14		15		15		15		15		15		179	0	179			
	1歳児	24		24		24		24		24		24					288	0	288
	2歳児	24		24		24		24		24		24					288	0	288
小計(0~2歳児)		62	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	755	0	755			
2号	3歳児	25		25		25		25		25		25		300	0	300			
	4歳児	26		27		27		27		27		27					323	0	323
	5歳児	26		26		26		26		26		26					313	0	313
小計(3~5歳児)		79	0	80	0	80	0	80	0	80	0	80	0	959	0	959			
合計		141	0	143	0	143	0	143	0	143	0	143	0	1,714	0	1,714			
年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計			
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市						
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15		179	0	179			
	1歳児	24		24		24		24		24		24					288	0	288
	2歳児	24		24		24		24		24		24					288	0	288
小計(0~2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	755	0	755			
2号	3歳児	25		25		25		25		25		25		300	0	300			
	4歳児	27		27		27		27		27		27					323	0	323
	5歳児	26		26		26		26		26		26					313	0	313
小計(3~5歳児)		80	0	80	0	80	0	80	0	80	0	80	0	959	0	959			
合計		143	0	143	0	143	0	143	0	143	0	143	0	1,714	0	1,714			
小計(0~2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	755	0	755			
1号	満3歳児													0	0	0			
	3歳児	1		1		1		1		1		1					12	0	12
	4歳児																0	0	0
小計(3~5歳児)		80	0	80	0	80	0	80	0	80	0	80	0	959	0	959			
合計		143	0	143	0	143	0	143	0	143	0	143	0	1,714	0	1,714			

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ97名(5.7%)

職員数：

種別	園長	主幹 保育教諭	保育 教諭	助保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	21名	—	—	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	13名	4名	1名	—	2名	2名	1名
合計	1名	2名	34名	4名	1名	1名	4名	2名	1名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	9名	4名	令和5年度 補充2名
非常勤職員 (派遣職員除く)	0名	2名	令和5年度 補充0名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの遊びが発展する環境・生活面では、心と体が休まる安心安全な環境づくりに努めた。
- フリー職員や午睡時の職員を増員し、所定勤務内での事務処理・保育業務を行えるようにした。また、クラスリーダーの育成に努め、クラス運営がスムーズかつ円滑に行えた。
- キャリアアップ研修を多くの職員が受講できた。
- 災害訓練マニュアルをに沿って、緊急時園児引き渡し方法を職員や保護者に周知した。
- 安全計画を作成・周知し、安全に対する意識を高められた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育空間の中でくつろげるスペースやコーナーづくりに視点をあて、各クラス限られた保育スペースの中で取り入れることができた。 ● 乳児クラスは日中だけでなく夕方も園庭あそびができるように時間帯を工夫し、最低1日1回は園庭で身体を動かして遊ぶ機会を設けた。気持ちと体が発散されているので、17時以降も落ち着いて遊べるようになった。 ● 新型コロナウイルスで中止していた、ふりかけづくりや野菜カット・皮むきを再開した。また1月以降にはクッキングも再開でき、楽しい経験を通して食に対する興味が広がった。 ● キャリアアップ研修を多くの職員が受講できたが、受講した内容の共有や園内研修が十分にできなかった。来年度は園内研修の時間を確保し、教育・保育内容の共有を深めていきたい。 ● 緊急時の際の避難場所や園児の引き渡し方法を保護者に周知し、災害時マニュアルに沿って園児引き渡し表を保護者に記載してもらい緊急時に備えることができた。また緊急時すぐに避難ができるよう、避

	<p>難車や救急バックの位置をすぐに対応できる位置（正門横の倉庫）に変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全対策マニュアルを作成し、園外保育の安全確認を見直したり、未登園になっているお子さんの保護者には欠席の確認電話を行うようにしたり、子どもの安全確認をした。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 行事のことや保育についてクラスリーダー会で話し合う機会を多く取り入れることで、保育が円滑になった。また職員は、理解し納得した上で業務を遂行できていた。 ● キャリアアップ研修の研修を全職員最低1分野の取得は完了した。来年度からも計画的に受講できるようにしていきたい。 ● 職員の有休休暇取得率は昨年度が108.2%であったこともあって90.4%であった。時間外勤務については、保育準備や事務作業、行事開催の準備等ほとんど所定勤務内で行うことができた。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● スマイルサポーターが常駐しているので、地域の方の相談窓口として努めた。 ● 一時保育で年間2,162人を受入れ、就労支援や育児支援に努めた。また外国籍のお子さんを受入れた際は、就労支援のため当園以外の受入れ先を探し（企業型保育園）他園と連携して保育を行った。 ● 子育てサークル、園見学を再開した。再開すると多くの地域の方が当園のサークルや園庭開放に来られていた。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● AEDの貸し出し掲示 ● 多くの実習生を受け入れた。

その他特記事項（施設整備関係）

- GHP 空調全体更新工事（建築当初から冷房の効きが悪かった為）
- Wi-Fi 更新工事（無線機器が多くなってきたのでWi-Fiの強化）
- 食器洗浄機交換工事（経年劣化）※共同募金助成金事業
- 液晶プロジェクター設置（ホールでの行事円滑化）

【のぼたけ保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計			
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市						
3号	0歳児	13		15		15		15		15		15		178	0	178			
	1歳児	25		25		25		25		25		25					300	0	300
	2歳児	36		36		36		36		36		36					432	0	432
小計(0～2歳児)		74	0	76	0	76	0	76	0	76	0	76	0	910	0	910			
2号	3歳児	29		30		30		30		30		30		359	0	359			
	4歳児	30		30		30		30		30		30					360	0	360
	5歳児	48		48		48		48		48		48					571	0	571
小計(3～5歳児)		118	0	118	2	118	1	118	1	118	0	118	0	1,416	4	1,420			
合計		192	0	194	2	194	1	194	1	194	0	194	0	2,326	4	2,330			
※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ137名(6.2%)																			

職員数：

種別	園長	副園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	看護 師	栄養 士	調理 員	用務 員	事務 員
常勤	1名	1名	2名	1名	30名	1名	1名	3名	—	—
非常勤	—	—	—	—	10名	—	—	1名	3名	2名
合計	1名	1名	2名	1名	40名	1名	1名	4名	3名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	転勤者数	備考
常勤職員 (正規職員)	8名	2名	1名	令和5年度 補充5名
非常勤職員 (派遣職員除く)	2名	1名	—	令和5年度 補充なし

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもが遊びきれる環境づくりを目指し、各クラス環境構成を再検討しコーナーづくりをしたり、遊び方の工夫・年齢に合った玩具を年に数回選り直すなどし、子どもたちが自分で遊びを選んで自主的に遊べる環境づくりに励んだ。
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を5歳児クラスだけではなく、3歳児クラスから保育計画に入れて計画的に進めていけるようにしたことで幼児の担当が意識をもって取り組めるようになってきた。今後は乳児クラスの保育にも取り入れていけるようにしたい。
- チーム保育をめざし、同じ方向をもって保育できるようにミーティングを細目に設け、クラスミーティングや幼児会・乳児会で話を共有してもらうようにした。
- 見守りが必要な家庭があるため、地域の専門機関と連携しながら子どもの様子を担任と主幹教諭で共有し、保護者のケアをこまめにした。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週水曜日の体操教室に加え、運動会に向けて日々の保育の中で体力づくりをし、体幹を鍛えることができるよう保育内容に組み込んだ。 ● 幼児クラスはワークやひらがな・数字などの取り組みをし、小学校にあがるまでに必要な知識や経験ができるように保育内容にしっかり取り入れている。3歳児クラスから「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を月案に取り入れ、毎月クラスミーティングで話し合いをし実践できるようにした。 ● コロナ禍ではあったが、行事など見直しを図りできるだけ子どもたちの利益を尊重し、職員間で話し合いを重ねながら保護者の希望に沿った形で行事を行うことができた。 ● 食育計画どおり、各クラス年間通して畑やプランターを用いて野菜や花を育て、失敗もしながらも楽しんで一緒に取り組むことができていた。子どもたちの食に対する意欲や関心につながるようにクッキングなど

	<p>も企画し楽しめていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年度より課外活動の場を設け、午後からの時間を有効に活用している。希望者も多く、YMCA・ECCともに30人以上の利用児がいる状況。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の残業を少しでもなくせるように、おたより・月案・個人カリの記入方法の見直しを図った。 ● 職員の有休取得率100%をめざし、自分自身の管理と取得できる環境づくりをした結果、今年度は有休休暇取得率89.6%であった。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時保育の受け入れをできるだけ多くしてきたが、定員数をオーバーしキャンセル待ちが増えたため、年末より一時保育の新規受け入れを中止せざるをえなかった。3月より次年度の新規受付を開始している。一時保育利用中の方で子育てに悩んでいる方がおられたときはなるべく利用の回数を増やし、お迎え時に時間を作り母親の話を傾聴するなど子育て支援に力を入れて取り組んだ。 ● こっこびよびよサークルのお知らせを毎月開催し、HP掲載し定員15名として参加してもらった。毎回13、4名ほど参加があった。今後もチラシ配りやポスターHPなどで呼びかけていきたい。 ● 実習生の受け入れも積極的に行い、オリエンテーションなどで丁寧に説明し実習中の疑問や質問などにも応対できるようにした。今年度は4人ほど受け入れている。 ● AED設置および掲示 ● スマイルサポーター3名配置

特記事項（施設整備関係）

- 京都馬主協会助成金事業により給茶機設置を行った
- ホールの分散利用のためパーティション型整理棚を設置した
- 職員事務の効率のため各クラスにパソコンを導入した
- コロナ感染対策のため自動水栓を設置した

【のぼたけマミー保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市
3号	0歳児	4		5		6		6		6		6	
	1歳児	7		8		8		8		8		8	
	2歳児	8		8		8		8		8		8	
小計(0～2歳児)		19	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0
2号	3歳児												
	4歳児												
	5歳児												
1号	満3歳児												
	3歳児												
	4歳児												
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		19	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・ 他市 合計
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市			
3号	0歳児	6		6		6		6		6		6		69	0	69
	1歳児	8		8		8		8		8		8		95	0	95
	2歳児	8		8		8		8		8		8		96	0	96
小計(0～2歳児)		22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260
2号	3歳児													0	0	0
	4歳児													0	0	0
	5歳児													0	0	0
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ30名(11.5%)

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	用務員
常勤	1名	1名	9名	1名	2名	—
非常勤	—	—	2名	—	—	1名
合計	1名	1名	11名	1名	2名	1名

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	1名	1名	令和5年度 補充 0名
非常勤職員 (派遣職員除く)	0名	1名	令和5年度 補充 0名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 愛着感情を育むことを基本とし、子どもの思いを尊重し主体性を育てる保育や環境設定の工夫に努めた。
- ドキュメンテーションなどを学び、保育の記録・伝達ツールとして活用した。
- 運動遊びを楽しみながら、体感を鍛え、安定した体の基礎を作る保育に努めた。
- 近隣の自然の中で遊ぶ機会を多く持つようにし、小動物の飼育や野菜の栽培にも努めた。
- 食材に触れたり作る過程を経験することで、食への意欲を高めた。
- 研修等に積極的に参加するとともに、園内でも学習会や意見交流を通して学びの場を増やし、同僚性を高めて保育の質の向上を図った。
- 保育から離れて事務作業をする時間と場所の確保に努めた。
- 保護者支援では、保護者理解、寄り添う支援、きめ細やかな対応を全職員が心がけるようにし、保護者交流ができる機会を持つようにした。
- コロナ禍ではあったが、夏まつりを開催したり高齢者施設訪問をして、出来るだけ地域とのつながりをもつように努めた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの思い・興味に応じた支援の仕方や声かけの工夫が見られた。 ● 子ども一人ひとりの甘えたい思いに十分に寄り添い、愛着関係を築くことができた。 ● 子どもの興味や意欲が育つ環境設定の工夫をすることで、遊びが広がった。また、他児と一緒に遊ぶ楽しさも味わい、誘い合って遊ぶ姿が多く見られた。 ● 草花・生き物・季節の移り変わりなど様々な事象への気づきができるように、保育士が興味をもち子どもの気づきへと繋いだ。 ● 菜園活動やみかんの収穫、干し芋、干し柿、鏡餅など、季節ならではの食べ物に触れたり、味わったり、収穫やクッキングなどを通して調理される様子を

	<p>見たり実践することで、食への興味が深まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みかんの木に産み付けられたアゲハ蝶が卵から孵化して飛び立つまでを飼育観察し、命の不思議を感じ、命を大切に思う気持ちが育った。 ● 外部講師指導によるサーキット運動あそびを通して意欲的に参加することで、動きが安定して、身のこなし方や危機回避などもうまく対応できるなど身体能力が高まった。 ● ポートフォリオ・ドキュメンテーションでの記録を通して、あらためて子ども理解が深まってきた。 ● 感染症予防に気をつけながら、表情や感情が伝わるよう心掛けた。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務上がりでは、完全に園児や保護者から離れられるための時間と作業スペースを確保した。 ● 同僚性を高め、保育士が支えあう環境ができ、協力し合って仕事に取り組むようになってきた。また、職員同士が気遣い合い、体調不良時には休みやすい環境にもつながった。 ● 会議の内容は、話し合いや打ち合わせの時間を確保しながらも、短縮できるよう工夫をした。また、職員が主体的に会議に参加し把握することで、園全体の保育が円滑に行われるようになってきた。 ● 特技を活かした活動に取り組むことが浸透してきて、好きなことや特技などについて積極的に発言するようになってきた。 ● 今年度の職員の有給休暇取得率は 99.8%であった。休憩時間の確保、事務作業や諸準備等を勤務時間内に行う事で、持ち帰り仕事の軽減化も進んだ。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍で定期的な遊びの場を設けることはできなかったが、園の行事（夏まつり）に地域の方が参加できるようにした。 ● 異世代交流として、地域の高齢者施設（アクティブライフ豊中）訪問を行い、短時間であったが交流をもつことができた。

特記事項（施設整備関係）